

モニタリング結果報告書

施設 神奈川県聴覚障害者福祉センター
 指定管理者 (福)神奈川県聴覚障害者総合福祉協会
 施設所管課 障害福祉課

(平成22年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	H22.5.10	H22.5.12	月報を確認、改善すべき業務はなし
5月	H22.6.10	H22.6.14	
6月	H22.7.12	H22.7.13	
7月	H22.8.10	H22.8.12	
8月	H22.9.13	H22.9.13	
9月	H22.10.12	H22.10.15	

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

〔指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。〕

<提案内容の概要>

- ① 手話通訳、要約筆記は、聴覚障害者の情報保障、コミュニケーション支援として重要なものであり、それぞれを要請する。
- ② 近隣の町内会等の部屋利用をはじめ、ボランティアグループ、手話サークル等の施設見学、実習生の受入等を行う。
- ③ 聴覚障害乳幼児指導と成人聴覚障害者を対象としたコミュニケーション教室を実施

<実施状況>

- ① 手話通訳養成講習会 申込66名 定員80名
 実施日6月5日、12日、19日、26日、7月3日
 要約筆記養成講習会(手書き) 申込21名、定員15名
 実施日5月28日、6月4日、11日、6月18日～7月16日
 要約筆記養成講習会(パソコン) 申込19名 定員15名
 実施日5月28日、6月4日、11日、6月18日～7月16日
- ② センター見学 5月14日 横浜市障害者社会参加推進センター 14名
 5月20日 県立深沢高校 16名
 7月21日 開成町社会福祉協議会 21名
 8月12日 鎌倉手話講習会 15名
 高校生を対象とした「聴覚障害者についての講座」 7月30日実施 9校35名の参加
- ② コミュニケーション教室
 「言語教室」 5月11日～9月28日 10回実施 37名参加
 「手話教室(入門)、(初級)、(実践)」 4月10日～9月18日 13回実施 94名参加
 「読話教室(入門)、(基礎)、(実践)」 5月14日～9月4日 11回実施 83名参加

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入		
年間予算額	147,377	147,377		147,377	0
上半期計 (a)	71,251	71,251	()	66,124	5,127
下半期計 (b)			()		
4月	9,973	9,973	()	6,202	3,771
5月	10,526	10,526	()	9,536	990
6月	19,675	19,675	()	18,545	1,130
7月	10,372	10,372	()	12,569	△2,197
8月	10,333	10,333	()	10,260	73
9月	10,372	10,372	()	9,012	1,360
合計 (a+b)	71,251	71,251		66,124	5,127

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

予算額に比し執行率は92.8%である。
 収支差額は±10%以内に抑えられており概ね妥当である。

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況	なし	
支出の状況	なし	
積立等の状況	なし	(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	9,733 人	10,100 人	△3.6%
下半期計 (b)	人	9,526 人	%
4月	1,663 人	1,839 人	△9.6%
5月	1,510 人	1,681 人	△10.8%
6月	2,183 人	2,465 人	△11.4%
7月	1,645 人	1,447 人	13.7%
8月	1,108 人	1,131 人	△2.0%
9月	1,624 人	1,537 人	5.7%
合計(a+b)	9,733 人	10,100 人	△3.6%

利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月						
5月						
6月						
7月						
8月						
9月			1			1

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
月			
月			
月			
月			
月			
月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・なし	
	・	
職員対応	・なし	
	・	
事業内容	・なし	
	・	
その他	・なし	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	特になし
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日	特になし		
月 日			

9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>ホームページを改編し、ストーリミング配信(動画配信)を開始した。</p> <p>聴覚障害者にとっての情報を随時ストーリミング配信することで、サービスの向上に図っていきたい。</p> <p>また、利用者からビデオを借りようと思っても内容が不明なので、簡単な説明を外箱等に説明があるとわかりやすいと要望され、利用者サービス向上のため利用者の視点に立ち、改善を図っていきたい。</p>
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画に基づき、着実に事業が行われている。 ・ 利用者サービス向上のため、指定管理者ができることは今後も引き続き行っていただきたい。 ・ 施設の管理についても現在に引き続き良好に努めてもらいたい。